

ランチョンセミナー 2

Surgical Critical Careにおける 循環動態管理の考え方

日 時

2025年**9月19日**(金) 13:10~14:00

会 場

第**2**会場 アバンセ 4F 第1研修室
佐賀市天神3-2-11

座 長

阪本 雄一郎 先生
佐賀大学医学部救急医学講座

演 者

遠藤 彰 先生
総合病院土浦協同病院 救命救急センター／
外傷・Acute Care Surgeryセンター

血液浄化の気になる

論文紹介中！

東レ急性血液浄化ポータルサイト

<https://www.blood-purification.toray/medical-personnel/>



Surgical Critical Careにおける 循環動態管理の考え方

総合病院土浦協同病院 救命救急センター / 外傷・Acute Care Surgery センター
遠藤 彰

本邦ではAcute Care Surgery (ACS)の対象となる疾患の多くは腹腔内感染症である。既に原疾患によって全身状態悪化を来している状態へ手術侵襲が加わることで、術後は全身管理を要することは少なくなく、患者の救命のためには適切な手術に加えて適切な集中治療が必須である。このことからSurgical Critical Care はACSの専門領域の一つとなっている。しかし時間や地域を選ばず症例が発生するというACSの性質のため、ときに集中治療の経験が浅い若手外科医が重症患者の全身管理をせざるを得ない場合もある。循環動態管理は集中治療において核心的位置付けであるが、日々アップデートされるエビデンスを元に多くの治療オプションの中から目の前の患者に適切な選択を行わなければならない。

本セミナーは循環動態管理に苦手意識を持つ医師やコメディカルを主な対象とする。現在の集中治療における循環動態管理、特に輸液、輸血、昇圧薬、強心薬、その他の補助的治療などについて、これまでに明らかになっている知見と今後明らかにすべき課題をまとめる。またガイドラインを超えた最新のエビデンスとともに、特定の患者においてオプションとなりうる治療法の紹介も行う。さらにopen abdomen management などACS領域に特有の重症病態が存在するが、その際の循環動態管理の考え方等も紹介する。